

ライフスタイルに対応した海岸整備に関する基礎的研究—福岡県北部の海岸について

九州産業大学 ○学生会員 高橋典子
九州産業大学 正会員 奥蘭英明

1. はじめに

現在、経済の停滞にともない人間回復の場として自然と触れ合うことが日々の中で求められるようになってきた。本研究の目的は、脇田マリノバージョンとして整備されている脇田海水浴場と古くからの利用形態である自然豊かな生の松原海水浴場の利用者に対するヒアリング調査から、現在の利用形態、問題点などを把握し、より多くの人々に求められる海浜の環境整備のあり方を見出そうとするものである。

2. ビーチ利用者への調査内容と方法

ビーチ利用者を対象に脇田海水浴場では平成13年7月28日に男性83人、女性76人、合計159人、生の松原海水浴場では平成13年7月29日に男性78人、女性54人、合計132人に対してヒアリング調査を行った。調査内容は利用形態、交通面、ビーチの各施設について等、それぞれ合計17項目、19項目とした。

3. ヒアリング調査結果と考察

図-2 は脇田海水浴場利用者がどこから来たかを示すものである。北九州市からの利用者が全体の7割以上と多い。マリノバージョンとして海水浴場の周辺も整備されており、また都心部からあまり離れていないため北九州域からの利用が多いと思われる。

一方、生の松原海水浴場利用者は隣接する福岡市西区からの利用が3割近くと多い。

図-3 は脇田海水浴場利用者の駐車場の満足度について示すものである。規模、管理体制、利用料金とほぼ満足しているが、浜までの距離に不満が目立つ。ビーチ全長が309mの脇田海水浴場の駐車場はビーチ端に位置するためあるため、利用者によっては距離を感じてしまうと思われる。

図-4 は脇田海水浴場の海岸整備の評価について示すものである。釣り桟橋、石張り護岸、ボードウォークともに評価が高い。

図-5 は脇田海水浴場の施設の評価について示

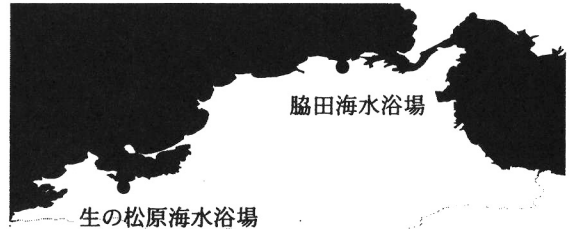


図-1. アンケート実施地点

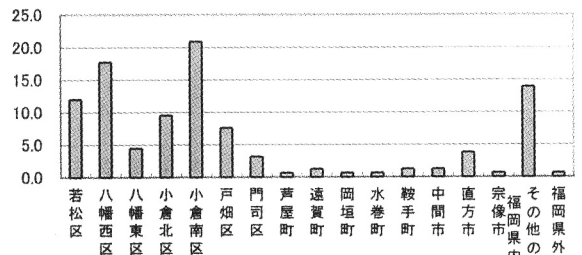


図-2. どこからきたか (脇田)

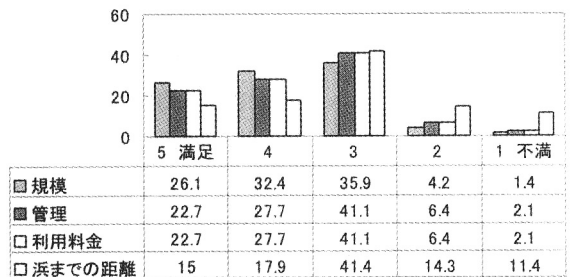


図-3. 駐車場について (脇田)

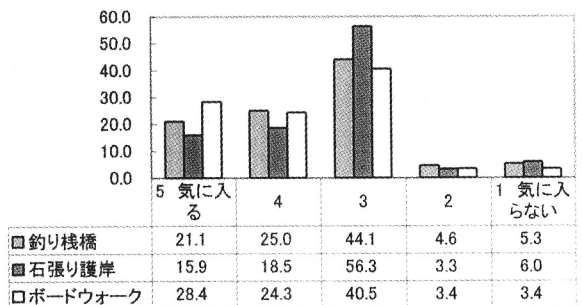


図-4. 海岸整備について (脇田)

すものである。脇田海水浴場には海の家がなく、オールシーズン使えるトイレとシャワー、ゴミ箱が入り口に設置してある。また、不十分意見が多い木陰は、砂浜には木陰がなく、屋根のついている施設もごく限られている為と思われる。

図-6 は生の松原海水浴場利用者の駐車場の満足度について示すものである。二軒の海の家が砂浜に面している為、浜までの距離の満足度が高い。

図-7 は生の松原海水浴場の施設の評価について示すものである。どれも不十分の意見が目立つ結果となった。それは、どの施設も海の家のもので脇田のように無料で使える施設がない為だと思われる。今後、トイレ、シャワー、ゴミ箱などのオールシーズン使えるような施設が必要だと思われる。

図-8 は両海水浴場利用者の満足度について示すものである。どちらも比較的高い満足度が得られていることが分かる。しかし、生の松原の不満の意見が少し目立っているように思われる。

4 まとめ

以上、本研究では整備されている脇田海水浴場と、自然のままの生の松原海水浴場の両海岸の利用形態についてヒアリング調査を実施し比較検討を行った。その結果、どちらも高い満足度を得られてはいるが、施設整備の不十分さが目立つように思われる。



写真-1.ボードウォークと石張り護岸 (脇田)

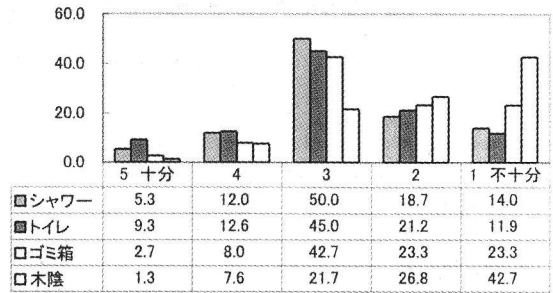


図-5. 海浜施設について (脇田)

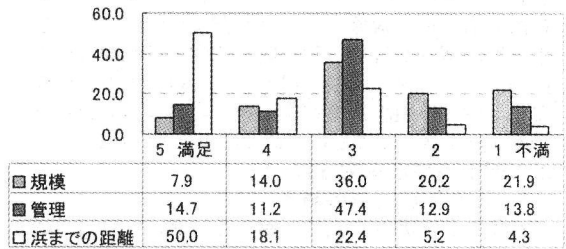


図-6. 駐車場について (生の松原)

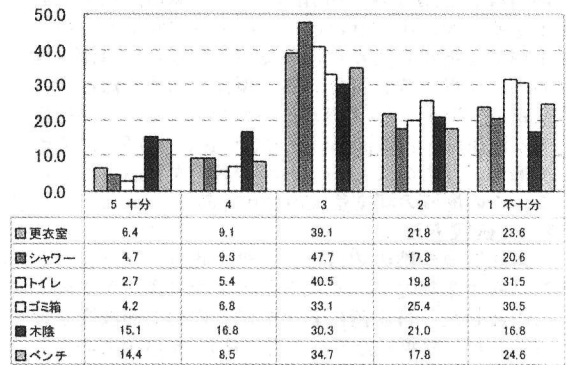


図-7. 海浜施設について (生の松原)

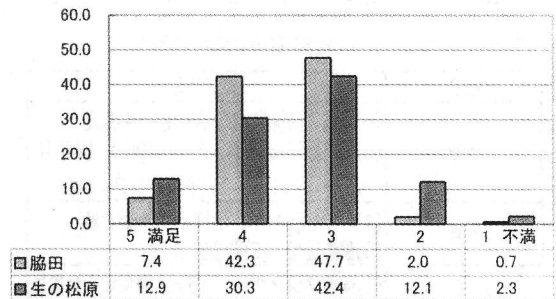


図-8. 満足度について